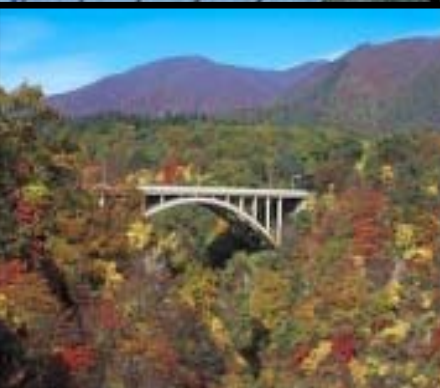


鳴子ダム水源地域ビジョン  
第3回策定委員会資料

平成17年5月31日（火）

資料 - 2 鳴子ダム水源地域ビジョンの経過報告  
及び方向性について



# 策定委員会の全体スケジュール

〔第1回策定委員会〕  
17年1月26日開催

委員のみなさまの意見  
水源地のありよう  
水源地と江合川流域や  
各地域とのつながり  
水源地の環境  
鳴子ダムについて  
荒雄湖畔公園や江合川に  
ついて  
水辺との親しみ・ダムの眺  
望  
鳴子のイメージをビジョンに  
反映

かわら版No.1  
鳴子町全戸配布  
下流関係者に配布

インターネット公開

川辺のコンサートで  
アンケート  
下流関係者アンケート

策定委員会  
事務局の活動  
今後も継続的に取り組み

〔第2回策定委員会〕  
平成17年3月23日開催

委員のみなさまの意見  
水源地のありよう  
地産地消で地域を活性化  
誰に楽しんでもらうか  
PR活動が大事  
横の連携も密に交流を  
何をPRしていく  
活動の拠点づくり  
アクセスの改善  
ダムの役割・ダムの活用  
現地視察

かわら版No.2、No.3  
鳴子町に全戸配布  
下流関係者に配布

インターネット公開

〔第3回策定委員会〕  
平成17年5月31日開催

議事進行  
委員会の運営・スケジュー  
ル  
地域活動の連携と交流  
地域活性化の事例及びポ  
イント  
分科会の設置  
現地視察

〔第1回分科会〕  
平成17年8月開催予定

テーマ設定  
ビジョンの基本目標・方針  
施策の体系  
行動計画  
推進体制

〔第2回分科会〕  
平成17年10月開催予定

ビジョンの基本目標・方針  
施策の体系  
行動計画  
推進体制

〔第4回策定委員会〕  
平成17年12月開催予定

鳴子ダム水源地地域ビジョンの策定

水源地の  
現有資源

多様な  
地域活動

ビジョンの  
基本方針

施策の体系  
行動計画

推進体制  
組織づくり

〔第5回策定委員会〕  
平成18年2月開催予定

鳴子ダム水源地地域ビジョンの推進

鳴子ダム50周年

# 第3回策定委員会の議事進行について

## 第2回策定委員会の意見

### (水源地域のありよう)

鳴子町への来訪者ばかりでなく、地域内外の大人から子どもまで楽しめるような仕組みづくり

地域の人が前向きに活動する  
廃校となる鬼首中学校の活用

### (地産地消で地域を活性化)

地域の農産物(根菜類、蕎麦など)を地域内で流通し地産地消につなげ地域を活性化  
地域の食材を学校の給食に提供し、子ども達に地域食材のよさを継承していく  
地産地消で地域が活性化するうえで、生産者の能力に見合った対応も必要

### (誰に楽しんでもらうか)

地域内外の人、年齢層、趣向などに対応するプランづくりが必要

### (PR活動が大事)

さまざまな資源や特色ある活動を戦略的にPRしていく  
地域活動のPRについては継続的に情報を発信  
定着するPR手法が必要  
地域の人が地域のセールスマンに

### (何をPRしていく)

雪が川に流れダムに貯まる、そのような「水の循環」  
水源地域のもつ資源を「森林セラピー(医療療法)」などで活用  
江合川上流でのブナの苗木の植林など地域環境の保全活動  
鳴子町内の温泉街の回遊性(湯めぐり手形など)、観光協会が取り組んでいる温泉療養プランなど、鳴子ならではの特色をもった活動

### (ダムの役割・ダムの活用)

児童用の教材を作成・PR  
スローライフ週間冬編に続き、鳴子ダムを拠点とした「夏編」の活動を計画

### (活動の拠点づくり)

荒雄湖畔公園を活用して、現在の運動機能や休養機能に、産直販売や情報発信などの機能を充実して拠点化

### (横の連携も密に交流を)

地域間交流は合併後の「大崎市」が主体となるので、近隣地域へのPRが必要

合併後も、地域のよさを継承していくことが必要

情報発信では交流できない。人とのうごきがあっての交流なので、そのための魅力づけをしていくことが必要

地域活動団体の連携を図り、一元的に推進してはどうか

情報を共有するための定期的な活動や、町のコンシェルジュ(案内人)として、観光をはじめとする情報を提供していくことが必要

ビジョンを推進していく組織作りが必要

### (アクセスの改善)

湖西道路などインフラ整備が必要だが、鳴子町や鬼首地区に來やすいアクセス確保・提供が必要

## 第3回策定委員会の議事

### § 1 地域づくり、連携と交流のしくみづくり

地域づくりとは・・・

地域づくりの推進に向けて

- 1) 人材育成
- 2) 情報活用
- 3) 計画や継続
- 4) 連携と協力

期待される役割

- 1) 地域住民や下流住民
- 2) 社会教育機関
- 3) 地域の活動者
- 4) 各種団体・企業
- 5) 行政機関

### § 2 地域活性化に向けて

鳴子町の状況

- 1) 鳴子町の観光動態
- 2) 鳴子町への来訪者の回遊性
- 3) 鳴子温泉のポジショニング

地域活性化事例(温泉地活性化事例)

潜在需要を掘り起こしたまちづくり

### § 3 今後の委員会運営

分科会の設置による運営(以下の2ケース)

- 1) テーマ別に分科会の設置
- 2) 推進づくりにウェイトをおいた分科会の設置

### § 4 現地視察

# 第3回策定委員会の議事進行について

## 分科会の設置について(案)

